



農業施策について

須藤 量久 議員

### ■ジャンボタニシ対策

**問** 近年、水田で稲を食害する通称ジャンボタニシが広い範囲で繁殖し、米の収量が落ち込む被害が増えている。被害を防ぐには、農業者や行政、JAなどが情報を共有し、地域一体による共同駆除対策と、防除に対する支援措置が必要であると考えるが見解を伺う。

**産業振興部長** 一農業者の対応だけでは駆除することは難しいと考えている。被害への対応は、これまで行われてきた水路の維持管理のように、地域で共同した対応が不可欠と考えており、農業者やJAなどの情報共有を図りながら、地域で行う取り組みへの支援について検討していく。

スケジュールや対象者、選定の方法などを伺う。

**産業振興部長** 本市が認定した認定農業者と認定新規就農者を対象として、支援の実施を直接お知らせした。その後、9月18日まで申請を受け付け、県農業技

術センターなどの協力を得ながら、内部で審査を行い、10月初旬に補助金の交付決定を予定している。

**問** 現時点での申請者数と問い合わせ件数を伺うとともに、想定件数を超えた場合はどのように対応するか伺う。

**産業振興部長** 9月7日現在23件の問い合わせを受け、既に6件の申請があ

った。締め切り後の状況を見た上で、対応を検討していきたいと考えている。

**問** スマート農業の導入支援は、農業において新たな光となる事業であると思う。想定を超える申請があった場合は、その人たちにも挑戦してもらえよう支援を拡充してほしいが、市長の見解を伺う。

**市長** スマート農業は、農業の次の一步を踏み出すために必要なものであると思う。支援を拡充できるかについては、先進事例も取り入れながら、総合対策の中のほかの取り組みも含めて検討していきたい。

**このほかの質問** 2022年問題(特定生産緑地) 有害鳥獣対策 湘南平(高麗山公園)魅力アップについて

### ■水害に備える避難所の充実



黒部 栄三 議員

**問** 近年の気候変動により風水害が頻発し激甚化するなど、過去に例を見ないことが起こっている。昨年の台風19号では過去最多の市民が避難所を目指した結果、多くの課題が浮き彫りになった。避難所などの対応で見えてきた課題と、その対策について伺う。

**防災・危機管理監** 主な課題として、指定緊急避難場所の運営方法、備蓄品の不足、国・県など防災関係機

関との連携、市災害対策本部各部班の対応の実効性などがあった。その対策として、避難所配備職員を対象としたワークショップによる振り返りと対応事例の共有、風水害に特化した指定緊急避難場所運営マニュアルの作成、椅子やマルチルームなどの備蓄品の拡充、国・県との意見交換を通じた改善の要請を行った。さらには、災害対策本部の会議運営に関することや、水・食料の提供に関する事柄の検討を行ったほか、各部班の対応マニュアルの充実を図り、訓練を実施した。各避難所運営委員会では、台風などに備え、地域の実情に応じた指定緊急避難場所運営マニュアルの整備に努めている。

**問** 7月に熊本県を中心に発生した豪雨でも多くの犠牲者が出た。解析の結果、正常性バイアスという過度

のストレスを受けないための防衛本能が働き、自分だけは大丈夫と考えて逃げ遅れた人が多かったようである。このような事態を防ぐには、近隣の住民や自治会などの声掛けで避難を後押しするよう取り組みを進めるべきであると思う。また、各自自治会では、災害時の行動を事前に記入しておくマイ・タイムラインの作成と、避難を開始する基準を事前に決めておく避難ス

それらを合わせた形でPRすることも大事であると思うが見解を伺う。

**防災・危機管理監** 避難行動を起こすタイミングは人によって違うので、マイ・タイムラインの作成時にどの時点で避難するかを記入しておくことが重要である。今後マイ・タイムラインの普及を積極的に進めていきたいと考えている。

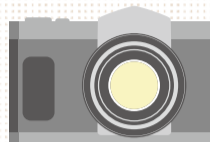
**このほかの質問** 自転車 のまち平塚 健康先進市ひらつか

## 1面写真を募集

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、季節を感じられる写真など平塚市の魅力を収めた一枚をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



## 清風クラブ 所属議員



片倉 章博 議長



野崎 審也 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

### 教育民生

議案3案件は全て原案どおり可決又は承認すべきもの、請願1件は採択すべきものと決定しました。

○議案第69号 専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕

**問** 総務費の広聴活動事業で、人工知能を活用した自動応答システムであるAIチャットボットを市のウェブページに導入するが、行政と市民のメリットをそれぞれ伺う。

**答** 行政の視点では、来庁や電話での問い合わせを減らすことができる。市民にとっては、夜間や休日を含めて、24時間問い合わせをすることができる。

**問** 民生費の地域自治推進事業で、新しい生活様式に沿った地域イベントの開催経費などを助成するため、270万円の交付金を計上しているが、金額の根拠を伺う。

**答** 1地区10万円の交付金を27地区分で見積もっているが、地域の声を聴きながら柔軟に対応したい。

○議案第82号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

**問** 教育費の中学校完全給食準備事業で、共同調理場整備計画地の地質調査を行うが、どのような調査を行うのか。

**答** ボーリング調査や孔内水平調査、物質調査などを行い、支持地盤の位置などを確認し、基礎工事に向けて調査を行う。ボーリングの本数などは、整備する面積などから5か所程度と想定している。

### 都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決又は承認すべきものと決定しました。

○議案第69号 専決処分の承認について〔令和2年度平塚市一般会計補正予算〕

**問** 土木費の生活交通確保対策事業で、路線バスやタクシーの事業者へ設備の整備費などを一部助成するが、具体的な内容を伺う。

**答** 交通事業者は利用者の安心・安全に配慮し、新型コロナウイルス感染防止対策として車内の消毒除菌対策や防護対策などを実施している。それらに必要な費用を補助するものである。

**問** 消防費の消防車両整備事業で、新型コロナウイルス感染症の

第2波・第3波に備えて新たに救急車両を導入するが、従来の車両との違いを伺う。

**答** 運転席と患者室をビニールカーテンで仕切る構造としたことや、救急車内に常時殺菌できるオゾン発生器を設置し、患者を密閉した状態で搬送できるアイソレーターを積載する仕様とした。

○議案第82号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

**問** 土木費の公園整備事業で、海岸エリアの園路整備に向けた測量を行うが、整備の内容を伺う。

**答** 龍城ヶ丘の公園整備地とビーチパークの間の約500メートルを結ぶ、車いすや自転車が通れる幅の園路を整備する。測量を実施した後、設計に進む中で全体の事業費が決まってくる。